

# 「内視鏡的乳頭部切除術における膵管ドレナージ方法の後方視的研究」に対するご協力のお願い

研究責任者 岩崎栄典  
研究機関名 慶應義塾大学医学部  
(所属) 内科学(消化器)

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

慶應義塾大学病院において 2012 年 3 月－2024 年 2 月まで十二指腸乳頭部腫瘍に対して内視鏡的乳頭部切除術を受けられた方。

## 2 研究課題名

承認番号 20241184

研究課題名 内視鏡的乳頭部切除術における膵管ドレナージ方法の後方視的研究

## 3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部

研究責任者

(職位) 教授 (氏名) 金井隆典

## 4 本研究の目的、方法

内視鏡的乳頭部切除術(Endoscopic Papillectomy; 以下 EP)時における、膵炎予防に対して、膵管ステントと ENPD のどちらが膵炎発症予防効果が高いかを過去の治療成績、診療録情報を元に検証します。

## 5 協力をお願いする内容

個人が特定されない診療情報(年齢、性別、身長、体重、投薬内容、処置施行日、処置内容、採血デ

ータ，レントゲン・CT・MRI・内視鏡画像データ)を提供頂きます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

なし

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

実施機関名 慶應義塾大学  
所属・役職 医学部内視鏡センター 助教  
担当者氏名 川崎慎太郎  
電話番号 03-3353-3536  
メールアドレス s.kawasaki@keio.jp

以上